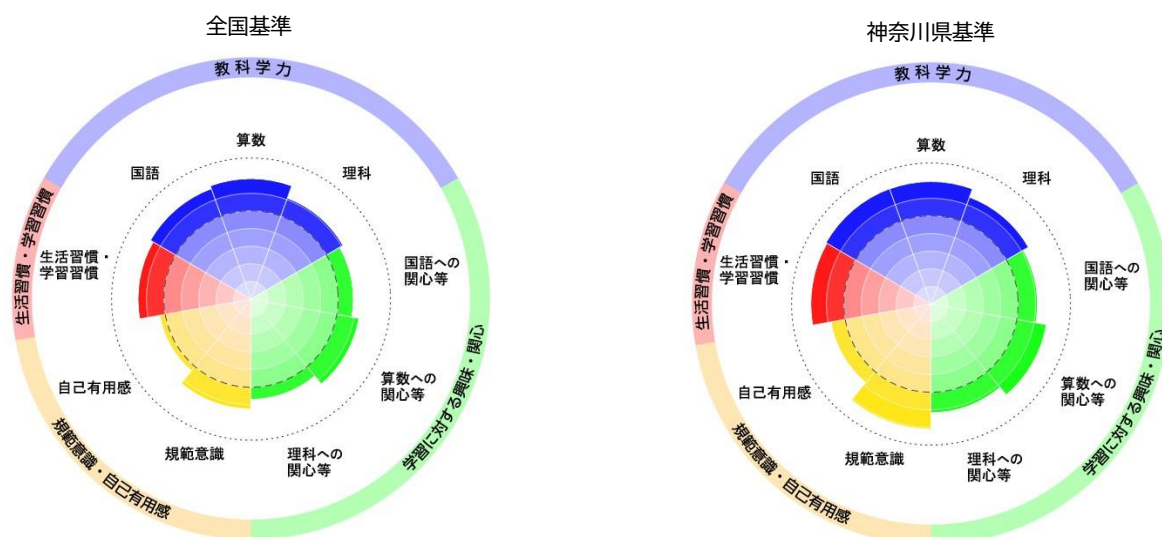


「令和4年度全国学力・学習状況調査」の結果についての報告

今年度4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を報告いたします。本校では、この調査結果をもとに、授業改善を重ね、児童一人ひとりの学力を高めていくよう努めてまいります。保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分に理解し、今後ともご協力いただきますようお願いいたします。

1 調査結果の概況 ※内側の点線円が平均を表しています



「教科学力」「学習意欲に対する興味・関心等」「生活意識・学習習慣」については、全観点で全国平均を上回る水準でした。それらに比べると、「自己有用感」の項目の低さが目立ちます。

2 教科に関する調査結果について

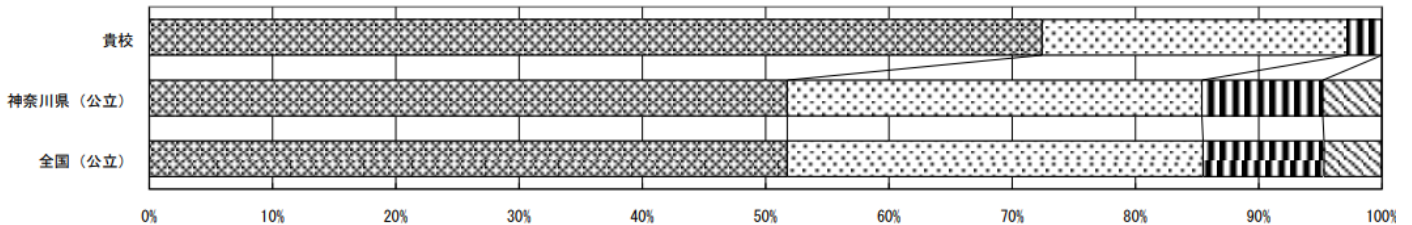
教科	結果
国語	平均正答率 本校：78% 全国（公立）平均：65.6% ・全問題において、正答率が全国平均を上回った。 ・「話すこと・聞くこと」の領域で、立場や意図を明確にし自分の考えをまとめる問題の正答率が、他に比べて低かった。
算数	平均正答率 本校：77% 全国（公立）平均：63.2% ・全問題において、正答率が全国平均を上回った。 ・「データの活用」の領域で、目的に応じてグラフを選択し、必要な情報を読み取る問題の正答率が他に比べて低かった。
理科	平均正答率 本校：72% 全国（公立）平均：63.3% ・実験器具の名称（メスシリンダー）を答える問題で、唯一正答率が全国平均を下回った。 →基本事項のため、定着するよう授業の中で繰り返し確認していく。

3 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問紙調査について

【生活面】

質問番号	質問事項										
(16)	学校に行くのは楽しいと思えますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	72.5	24.8	2.8	0.0						0.0	0.0
神奈川県(公立)	51.7	33.6	9.8	4.8						0.0	0.0
全国(公立)	51.7	33.7	9.8	4.7						0.0	0.0

☐1. 当てはまる ☐2. どちらかといえば、当てはまる ☐3. どちらかといえば、当てはまらない ☐4. 当てはまらない ☐その他 ☐無回答



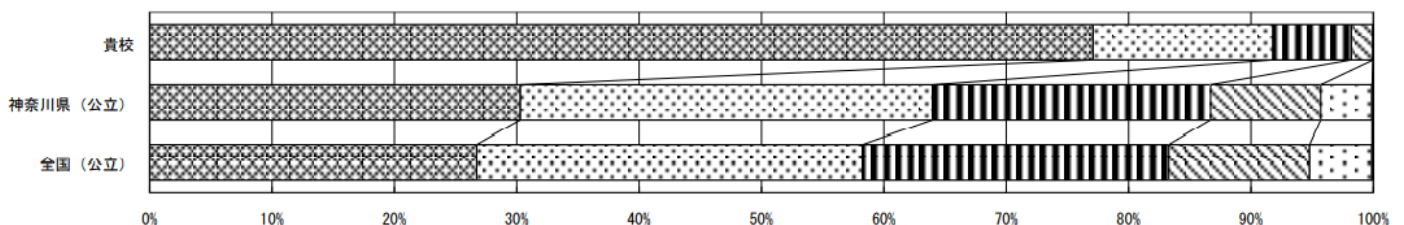
「学校に行くのは楽しいと思えますか」「友達と協力するのは楽しいと思えますか」という質問に対して、95%以上の児童が「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と答えました。全国のデータと比べても、本校では多くの児童が学校生活を楽しんでいることがわかります。それらに「どちらかといえば当てはまらない」と答えた児童の思いにも寄り添いながら、全児童にとって学校が安心して過ごせる場所になるよう、引き続き、他者と関わり学が楽しさを感じられるような授業や関係づくりに努めていきます。

学力面では高い水準にあるものの、自己有用感に関わる質問では、それほど高いとは言えない結果となりました。「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対しては、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童を合わせると約77%であり、これは全国のデータより若干少ない結果です。一人ひとりが自分らしい生き方を考えていけるようなキャリア教育についても、今後いっそう推進していきます。

【学習面】

質問番号	質問事項										
(32)	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	77.1	14.7	6.4	1.8	0.0					0.0	0.0
神奈川県(公立)	30.3	33.7	22.7	9.0	4.2					0.0	0.1
全国(公立)	26.7	31.5	25.0	11.5	5.1					0.0	0.1

☐1. ほぼ毎日 ☐2. 週3回以上 ☐3. 週1回以上 ☐4. 月1回以上 ☐5. 月1回未満 ☐その他 ☐無回答



「国語(算数・理科)の勉強は好きですか」「国語(算数・理科)の学習は大切だと思いますか」といった学習意欲に関わる質問では、全体的に肯定意見が多く、学力調査での高い正答率との関連が見て取れました。他の質問から、本校児童は全国的な傾向よりもゲームをする時間が少ないこと、学校外での学習時間が長いこと、規則正しい生活を送っていることなどが分かり、学力との関連が示唆されます。

「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」という質問では、全国のデータを大きく上回る結果となりました。一人一台のタブレットを、日々の授業や様々な活動の中で積極的に活用してきたことが反映されています。今後も、児童の主体的な学びのために、ICT機器を効果的に活用していきます。